

上京中だより

京都市立上京中学校

校長 近藤 博史

令和2年5月7日

5月号

校訓 人・もの・ときを大切に

学校教育目標 「自立・貢献・夢づくり」

豊かな心とたくましく生きる力を備え、社会に貢献する

夢や希望をもって、未来を切り拓く生徒の育成

5月の言葉

「学校再開を見据え、
今出来ることに“全力を尽くそう！”
その先にある今年度の目標を目指して…」



5月に入り、自宅近くの川沿いには、15本ほどの大きな竹が等間隔に立ち並び、毎年恒例となる鯉のぼりが設置されました。下から眺めるとたくさんの大きな鯉が風にたなびき、気持ちよさそうに泳いでいます。その姿に、何だかホッと、気持ちが和みました。

先行き不透明な状況が続いてはいますが、一日も早くコロナウイルス感染が収束に向かい、私たちの生活が回復すると共に、皆さんがこの鯉たちのように、思い切り気持ちよく学校生活を送れることを唯々(ただただ)願うばかりです。

さて、先日4日には、コロナウイルス感染拡大防止に伴い、緊急事態宣言が全国で5月31日まで延長されることが決まりました。すでに報道等にもありますが、これを受け、京都市の具体的な対応についても、8日以降に改めて正式に通知されるものと思います。

皆様には通知が届き次第、同じく8日以降に、上京中のホームページを通じてお知らせしたいと思います。引き続き、ホームページのご確認をよろしくお願いします。

ところで、ご存じの通り、コロナウイルスについては、その実体がまだ解明されていないところも多く、残念ながら今の段階では、ワクチンの開発にはまだ時間を要するため、誰もが感染する可能性をもっており、緊迫した状況が続いています。そのため、外出の自粛やマスクの着用、3密(密閉・密集・密接)を避けるなどの行動が求められています。

しかし、感染が広がり始めてからここまで、皆さんも含め多くの人たちの行動面での協力と、何よりも医療に従事されている方々(医師や看護師など)の献身的な治療等により、感染や病状の悪化を防いだり、命を救うなど、危機的な感染拡大や医療崩壊に至らず、全体を見ると、徐々に改善に向かいつつあります。これはありがたいことです。

京都市はもちろんのこと、全国各地で感染症の治療やケアにあたられている医療関係者の皆様の献身的な努力に、心より感謝をしなければならぬと強く感じています。本当にありがとうございます。

あとは、医療関係者への負担が増えないよう、私たちが感染を防ぐ努力をすることが大切となります。今後も以下の4点に注意しながら、規則正しい生活を送るようにしていきましょう。

【感染予防】①外出を控える。 ②3密を避ける。 ③手洗いやうがい、咳エチケット(マスクの着用等)をしっかりと実行する。 ④十分な睡眠とバランスのよい食事を心がけ、免疫力を高めておく。

最後になりますが、緊急事態宣言や休校が続く中、部活動においては、夏の全国大会や近畿大会が次々と中止となり、それを目指してきた皆さんにとっては、本当に辛く、残念な気持ちでいっぱいだと思います。とくに3年生にとっては最後の大会となる府大会や京都市大会が実施されるかどうかについては気がかりで、不安を抱えているのではないのでしょうか。現段階では「今後の状況を見ながら実施の可否を検討していく」となっていますが、皆さんの今すべきことは、大会開催の有無に関わらず、可能な限り、しっかりと準備を進めることだと思います。昨年の夏以降に新チーム、新しい体制になって練習を積み、その中でこの夏の目標を決め、秋・冬と頑張ってきたのではないのでしょうか？最後まで目標に向かって努力することが、きっとその先に繋がるはずです。今出来ることに全力を尽



5月の風景より

くし、この困難な時期に、心と体をしっかりと磨き上げてください。

今皆さんは正(まさ)に、この困難な時期にどのような過ごし方が出来たのか、それを試されているのかもしれませんが。充実したよい過ごし方が出来るよう、お互いに頑張りましょう。

保護者の皆様の励ましとご支援もよろしくお願い致します。

【追記】なお、このことは勉強や進路で不安を抱える皆さんについても同様に言えることだと思います。今すべきことは、学校再開に向けて、学習面での準備を進めることで、今出来ることに全力を尽くしてください。時間はたっぷりあるので、学校からの課題や予習・復習、自分の得意・不得意なこと(内容)などに取り組み、自分の脳をしっかりと磨き上げて(鍛えて)いきましょう。



◆ “読書” のすすめ！ ～教職員からのお薦めの一冊～

すでにホームページにも掲載したとおり、休校で時間のあるこの期間を上手く活用して、本を読む機会をもち、読書の楽しさやよい本と出会う喜びを感じてほしいと思っています。それは私たちが、読書を通じて多くの言葉と出会い、そこから様々な知識や先人たちの考え・知恵などを学び、面白さを見つけ、感動等を得ることができ、読解力や想像力、思考力、感性といったものを鍛えることが出来るからです。

また、全国学力・学習状況調査の分析結果の中でも、読書をする時間と学力との間に相関関係があるなど、本を読むことの重要性が述べられています。ぜひ、読書にチャレンジして、いいなと感じる素敵な本を見つけてください。

ここでは、上京中の教職員からのお薦めの本を紹介します。何の本を読もうかと迷っている人がいたら、この紹介本の中から一冊選んで、読み始めてください。少しでも皆さんの参考になり、役に立てれば嬉しいです。

なお、以下のお薦め本の紹介は、「◆本の題名(著者・作者) 本のあらすじやお薦めの理由等」の順で書いています。どの教職員(先生や職員)の紹介本なのかも想像しながら読んでください。ちなみに、上京中の教職員の名前は「学校だより4月号」に載っていましたね。こちらも参考に！

【教職員からのお薦めの一冊(紹介本)】

◆モモ(ミヒヤエル・エンデ)

私が中学生だった頃、お気に入りの1冊でした。時間どろぼうに盗まれた時間を、モモという少女が取り戻す冒険ストーリーです。

◆にんげんだもの(相田みつを)

平易な言葉を独特な書体で書かれた詩。力強い言葉に、迷いの心が支えられる名言集です。他に、「一生感動一生青春」「おかげさん」など多数あります。

◆沈黙の王(宮城谷昌光)

古代中国を題材にした短編集。表題の「沈黙の王」は、漢字を考案した伝説の王「商の高宗(武丁)」の苦悩の物語です。他の作品もおすすめです。

◆カモメに飛ぶことを教えた猫(ルイス・セプルベダ)

「猫がカモメに飛ぶことを教える? どういうこと?」という疑問から入りましたが・・・最後は(大人も)涙涙の感動ストーリーです。ケンガーというカモメから卵を受け取った黒猫のゾルバは、彼女とかわした3つの約束を果たすため、仲間と力を合わせて奮闘することに。しかし、困ったことに生まれたカモメ、フォルトゥナータは自分のことを「猫」だと思っています。さあ、ゾルバたちはどうする? こんな時だから、ぜひ心温まるお話を。

◆植物図鑑(有川 浩)

ある日、道端に落ちていた好みの男子。「お嬢さん、よかったら俺を拾ってくださいませんか?」
楽しくて美味しい道草がやがて二人の恋になる。野に育つ草花に託して語られる恋愛小説!!

◆ディズニーそうじの神様が教えてくれたこと(鎌田 洋)

ディズニーの掃除部門で働く人たちの4つの話で構成されています。「夢の国の落とし物」「月夜のエンターティナー」「魔法のポケット」「夢のその先」の4つの物語があり、どれも感動的なお話です。

◆博士の愛した数式(小川洋子)

220と284。この2つの数にはどのような関係性があると思いますか? 本作には様々な美しい数字や数式が紹介されています。僕は中学生のときに本作を読み、数学に対する見方が大きく変わったことを覚えています。数学博士と過ごす穏やかな時間も魅力的です。数学が好きな人は数式重視、物語を楽しみたい人はストーリー重視といったように、色々な読み方で楽しめる作品です。

- ◆ぜんべいじいさんのいちご（作：松岡 節・絵：末崎茂樹）
子どもが小さかった頃、毎日のように「読んで」とせがまれ、読み聞かせた絵本です。誰にでもそういう大好きだった絵本があると思います。自分にとって昔懐かしい絵本をゆっくり絵を楽しみながら、読みかえしてみるのはどうでしょう。こんな時だからこそ、心の免疫力も上げておきたいですね。
- ◆精霊の守人（上橋菜穂子）
人が生まれ住む世界と精霊たちの世界が混在する世界で、女用心棒バルサの活躍を描くシリーズもの。精霊の卵を身体に宿した皇子を、命をねらう異界の魔物から守る物語。風景描写が美しく、わくわくする展開で、あまり本を読まない私もあっという間に読めました。次の「闇の守人」もおもしろいです。
- ◆十五少年漂流記（ジュール・ヴェルヌ）
外出自粛でしんどい毎日ですので、本の世界で究極のアウトドアを体験・想像してみませんか？短くて読みやすく、おススメの一冊です。J・ヴェルヌは他に「海底2万マイル」なんかもおススメですよ！
- ◆方言の日本地図（真田信治）
教科書P88の読書案内にも載っています。
日本という島国の中でも、地域・地方によっては同じものでも違った表現の仕方があり、日本語の面白さ、方言の味わい深さに気付けるかも。
- ◆そして、バトンは渡された（瀬尾まいこ）
2019年本屋大賞に選ばれた作品。血のつながらない親の間をリレーされ、4回も名字が変わった主人公。だが、彼女はいつも愛されていた。
- ◆和菓子のアン（坂本 司）
この作品を読むと、必ず和菓子が食べたくなります!! おいしいお茶と和菓子でお家での時間を楽しんでください。校区にたくさんある和菓子の老舗に足を運ぶ日が、早く訪れますように…。続編「アン青春」もお勧めです。
- ◆ライオンのおやつ（小川 糸）
かんどうします。
- ◆ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー（ブレディ みかこ）
「本屋大賞」受賞のノンフィクション作品です。主人公は著者の息子。イギリスのブライトンという町で、アイルランド人の夫と息子の3人で暮らす著者が、「市のランキングで常にトップを走る名門校」から「元底辺中学校」に進学した息子の日常を書きつづった作品です。人種も貧富もごちゃまぜのこの学校で、悩みながらも果敢に前を向いてどんどん新しい何かに出会っていく息子の姿から、たくさんのかんじを感じとってみてほしいです。
- ◆最初の一步 最後の一步（水野彌一）
京都大学のアメリカンフットボールの初心者の学生が、インターハイを優勝した選手の集まる私立大学のチームに勝って日本一になる実際にあった話。何度も日本一になっている。ぜひ京大でアメフトを！
- ◆星の王子さま（サン＝テグジュペリ）
フランス人の飛行士でもある、小説家の作品。中に素敵なイラストもたくさん描かれています。小説の中でキツネが「心で見なくちゃ、ものごとはよく見えないってことさ。かんじんなことは、目に見えないんだよ」と王子さまに言います。この言葉が印象に残っています。
- ◆心を整える。勝利をたぐり寄せるための56の習慣（長谷部 誠）
私が中学2年生の時に出版された本です。
2010年南アフリカW杯の日本代表キャプテンとして出場した長谷部誠選手の自伝です。常に自分と向き合い続ける姿勢、心を落ち着かせる大切さについて書かれています。私自身中学生の時にこの本を朝読書で読んでいました。ぜひ読んでみてください。
- ◆モルフェウスの領域（海堂 尊）
ドラマにもなったあの「チームバチスタの栄光」を書いた海堂尊の一冊で、今の医療では治らない病気の少年を、未来の医療で治療するため、それまでの数年を眠らせて待つことにした。その間その少年を管理する涼子とそれまで彼を病棟で担当していた翔子を中心人物とする話です。
海堂尊の本は他の本との関連性があり、登場人物や時系列につながりがあります。読んでみると「あ～、あの時の！」と気づいたときに別の嬉しさがあり、他の本も読んでみようと思わせる一冊です。



- ◆コーヒーが冷めないうちに（川口俊和）
過去にもどれたら…。だれしものが、一度は思うこと。過去に戻れると噂の喫茶店で繰り広げられる、4つの物語。せつない話の中にもユーモアがあり、面白い話です。映画化も、続編の話もあります。
- ◆ノーサイド・ゲーム（池江戸 潤）
2019年テレビドラマ化された人気小説。知識も経験もない低迷するラグビー部の再建をかけて、主人公と仲間たちが会社内に立ち塞がる大きな壁や逆境に立ち向かっていきます。小説を読んで、ドラマを見るもよし、ドラマを見た人は原作を読んで更に楽しさが広がる一冊です。
- ◆7人のシェイクスピア（ハワード作石）
シェイクスピアの人となりについて、仮説的な話。シャイクスピアの戯曲の魅力も満載。
- ◆応天の門（灰原 薬）
菅原道真と在原業平がタッグを組んで、平安京にはびこる難事件を解決する話です。
- ◆月の影 影の海（上・下）（小野不由美）
ファンタジーは苦手…と思っていたら、あっという間に引き込まれ、物語の世界に夢中です！十二国記というシリーズの1冊ですが、まずはこの本から読んでみては。表紙の絵も美しくてうっとりします。
- ◆星 新一 ショートショート（星 新一）
ふだんあまり本は読まないけど、読書を始めてみたいという人にお薦めなのが、星 新一氏のショートショートという作品本です。作品は1冊の本に短い小説がたくさん入っており、まさかのオチの数々にハマってしまいました。（著者の星 新一氏はショートショートの神様と呼ばれています）（ショートショートの）代表作として、「ボッコちゃん」「ようこそ地球さん」「きまぐれロボット」「未来いそっぷ」「ノックの音が」などがあげられます。まずは「ボッコちゃん」から読んでみてください。
- ◆夢をかなえるゾウ（水野敬也）
主人公は「人生を変えよう」と思っているけど、何も変えられない普通のサラリーマン。そこにある日突然、ガネーシャというゾウの姿をした神様が現れ、主人公の家に住みつく。一見、自分勝手にいい加減に見えるガネーシャだが、その彼の教えにより、主人公が自らの人生を変えていくという物語。2008年の作品で、すでに200万部以上が販売。大ヒット作である。
- ◆一瞬の風になれ（佐藤多佳子）
兄への劣等感からサッカーをあきらめた主人公が、天才的スプリンターである親友の誘いで陸上部へ入部し、「どこまでも早くなること」を目指して…。はたしてデビュー戦のリレーの結果は？信じ合える仲間、ライバル、ほのかな恋心などが描かれ、さわやかに青春を駆ける姿が新鮮に感じる作品です。
- ◆風が強く吹いている（三浦しをん）
自宅で過ごすことが多くなり、最近では朝夕にランニングに取り組む人の姿が増えてきました。この本は、走るために生まれながら、それをあきらめかけていた2人が、陸上と無縁の8人を巻き込んで、「箱根駅伝」出場にトライするというお話です。本を読んだ後に、思わず走りたくなる気持ちにさせる、そんな1冊です。

【保護者の皆様へ】

「学校だより5月号」を作成しましたが、休校が続く中、生徒たちの活動するようすをお伝えすることが出来ず、とても残念です。何とか6月には学校再開となり、平素の教育活動が行えることを願いつつ、準備を進めております。その間、ホームページを活用しながら、できる限りの発信をしていきますので、今後もホームページをご覧くださいませようよろしくお願いします。

また、5月に予定をしていた行事等（家庭訪問も含む）はすべて白紙となり、中止または延期とさせていただきます。ご迷惑等お掛けしますが、ご理解とご了承をお願いします。今後の予定が決まりましたら、改めてご連絡をいたします。

加えて、担任・副担任からすでに電話で連絡しましたとおり、今日・明日（7日・8日）の2日間で、5月17日までの学習課題をご家庭に配付（ポストイン等）する予定となっています。配付物が届いているかの確認をお願いします。（万一、配付物がポストやお約束した場所等に入っていないなどがありましたら、学校までご連絡ください。）

なお、休校期間中に、ご不明な点や尋ねたいこと、困りごと等がございましたら、遠慮なく学校へ連絡をしてください。

今しばらく、お子様の体調管理等へのご協力をよろしくお願いします。

